

# R4年度の主な取組（環境・水循環課）



資料3



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 公害対策

- ・ 河川水の水質検査の継続実施

## 自然環境保全

- ・ 自然ふれあい探検隊事業

## 地球温暖化対策

- ・ ゼロカーボン推進事業
- ・ 頼って安心！結のEco協賛店
- ・ 公共施設の脱炭素化
- ・ 省エネ診断補助
- ・ 脱炭素ビジョンの策定

## 廃棄物減量対策

- ・ フードドライブの実施
- ・ 生ごみ処理機使用モニター
- ・ 紙ごみの資源化促進
- ・ 使用済小型家電の回収促進

# 自然環境保全



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 自然とのふれあい機会の提供

### ◆自然ふれあい探検隊事業 【R3～】

【対象】 主に小学生とその家族

【内容】 大野市にある自然環境（山・森・川・湧水地・動植物など）のふれあいと発見を行う体験的な環境教育  
本市の特徴の一つである「水循環」を切り口に自然と関わる形で実施

【実施回数】 年4回程度（春夏秋）

【R4計画案】

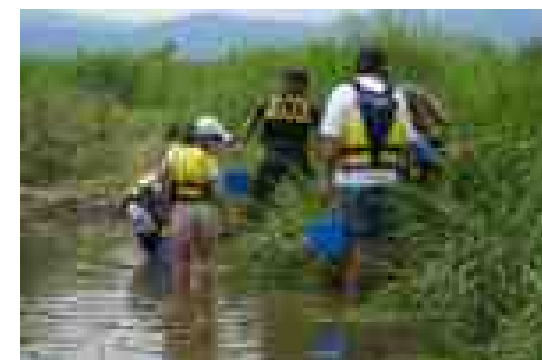
R4予定	場所・内容	対象
①5月	【真名川】春の水辺の生き物調査	全学年
②7月末	【下打波】川遊び（飛び込み・川の安全体験）※	4～6年
③8月初	【中島】夏の水生生物調査・水質検査	全学年
④10月	【真名川】フィールド探検（魚の産卵場所づくり）	全学年



参加者に隊員バッジを進呈  
（奥越明成高校に制作協力）

R3実績	場所・内容	参加者数
6/12	ガサガサ探検隊（真名川水辺の楽校）	児童32人・保護者32人
8/1	思いっきり川遊び	児童9人・保護者7人
8/	夏の水生生物調査等（中島公園）※	中止
9/11	生き物のすみか作りと下水道探検	児童15人・保護者13人

※国交省（九頭竜ダム統管）との連携事業



# 地球温暖化対策①



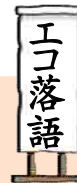
大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 脱炭素型エコライフの普及啓発

### ◆ゼロカーボン推進事業 【R3～】

#### ①笑って学ぶ！Eco落語 (R3)

環境をテーマにした創作落語を通じて、楽しく、環境問題について考える



【対象】中学生

【R3実績】5中学校 307人

#### ②楽しく学ぶ！Eco紙芝居 (R3～)

環境をテーマにした紙芝居を通じて、楽しく、環境問題について学ぶ。振り返り学習も実施。



【対象】小学生・未就学児

【R3実績】4児童館 89人

#### ③知れば納得！Ecoパンフレット&パネル展示 (R3～)

家庭でできるCO2排出量削減の取組をまとめたパンフレットやパネルを作成。

経費削減や健康増進効果も併せて紹介 【対象】市民全般 【R3実績】市民ホール・各公民館等で展示



#### ④遊んで学ぶ！Eco遊園地 (R3)

人力発電で動く乗り物、エコドライブシミュレータを設置、来場者にアンケート&パネル展示で地球温暖化等を学ぶ。



【対象】市民全般 (子育て層)

【R3実績】11/13-14 Vio 568人

楽しい！  
おもしろい！



エコ



行動変容

# 地球温暖化対策②



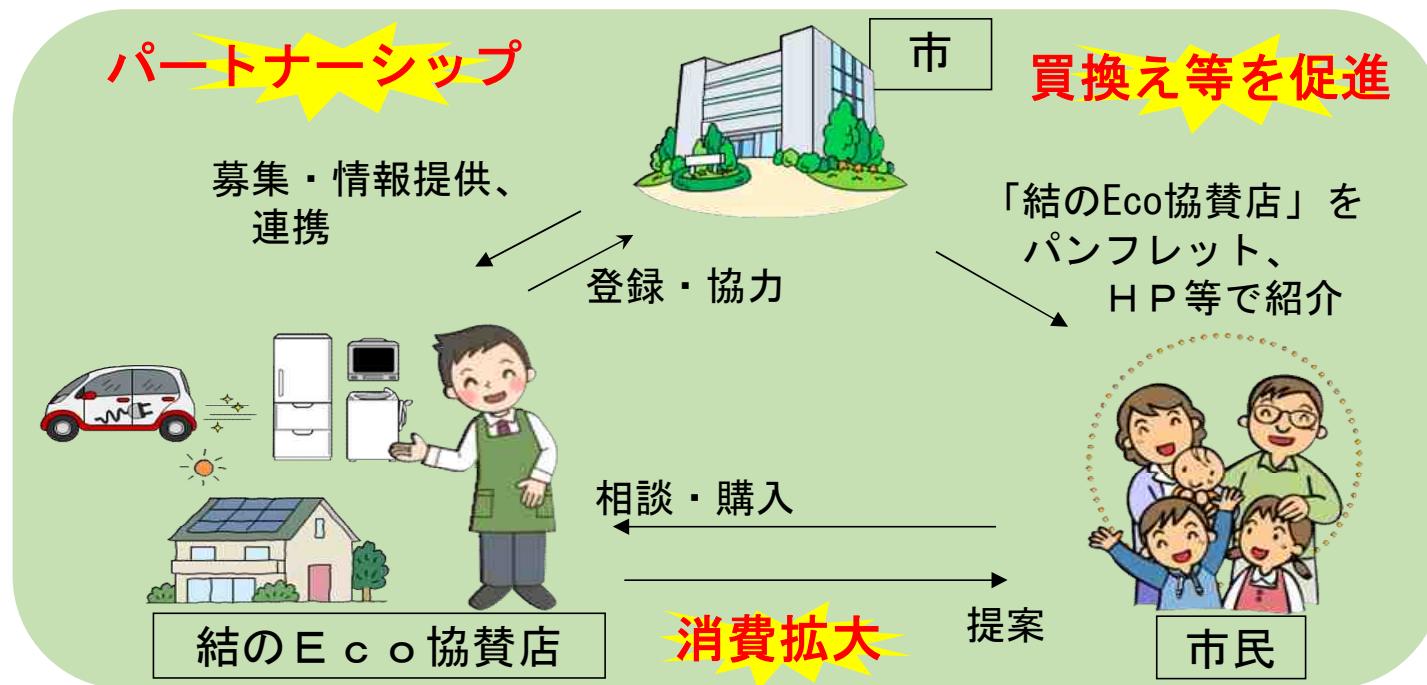
大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 市内事業者とのパートナーシップの構築

### ◆頼って安心！結のEco協賛店【R3～】

省エネ家電や太陽光発電設備、エコ住宅、エコカーなどを取り扱う市内の事業者を募集し、パンフレット等で市民に紹介。

【対象】市内事業者  
(家電・工務店など)



R3.12現在 48店舗が登録

# 地球温暖化対策③



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 公共施設の脱炭素化

設備老朽化・多量CO<sub>2</sub>排出施設を優先

R3 うらら館・図書館・めいりんにて、  
省エネ診断を実施。施設改修を検討

R4~ 2, 3施設を診断し、施設改修につなげていく



## ◆公共施設太陽光発電導入調査事業 【R4】

- 市内の公共施設のうち、構造や立地などから代表的な建物をピックアップし、太陽光発電設備等の詳細な導入調査を実施する。
- 大野市の特性である積雪量などを踏まえた導入可否及び対策、事業採算性を検討し、今後の太陽光発電設備の導入方針を検討する基礎資料を得る。



設置スペース・工法、荷重計算、導入設備の容量、日射量・日照量、積雪対策、年間発電量・CO<sub>2</sub>削減量、電気使用量等を踏まえた蓄電システム、施設改修含めた事業費・採算性

⇒脱炭素ビジョンのプロジェクト案検討材料に

# 地球温暖化対策④

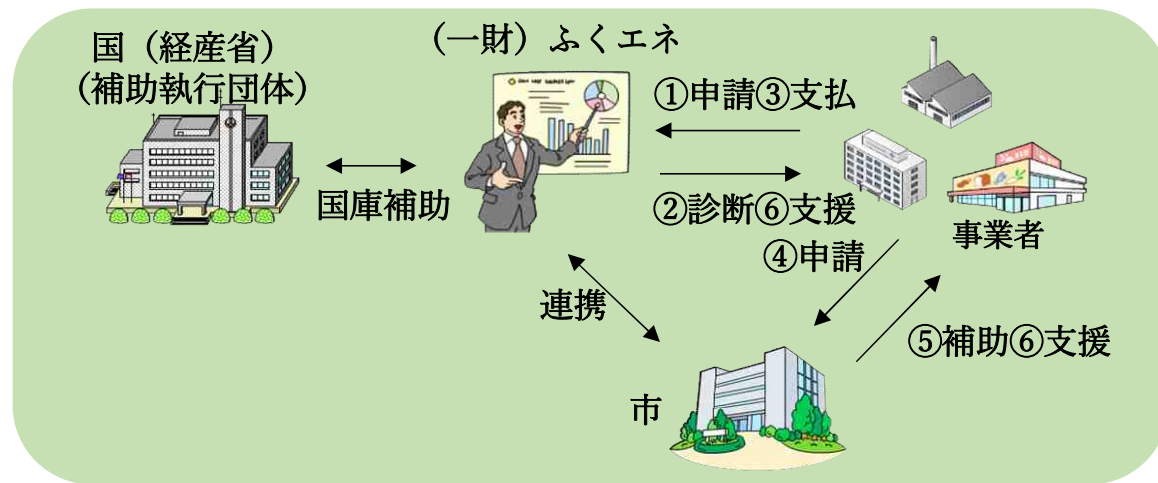


大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 民間施設の脱炭素化

### ◆省エネ診断補助事業 【R4～】

市内事業者の省エネ診断受診を促進し、高効率設備の更新など行動変容を促すとともに、事業者のエネルギー使用量や設備の状況、省エネ対策などの実態把握につなげる



- 対象 市内事業者（事業規模の大きい事業所・スーパー、社会福祉、製造業工場など）
- 概要 経済産業省「地域プラットフォーム構築事業」を活用して実施する省エネ診断事業に係る事業者負担額を補助する。
- 実施回数 3件程度（省エネ診断実施団体が実施できる上限）
- 事業内容
- ・省エネ診断を受けた事業者に対し、事業者負担額の全額を補助する。
  - ・事業者からの補助金申請書類に、省エネ診断結果の添付を求め、エネルギー消費量などの実態把握を図る。
  - ・省エネ診断実施団体（（一財）ふくいエネルギーマネジメント協会と連携し、省エネ診断結果に基づく省エネ改修等を支援する。

# 廃棄物減量対策①



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 食品ロスの削減

### ◆フードドライブ（「県民せいきょう」との連携）【R3～】

実施予定 6月・12月



家庭や職場で余っている食べきれない食品を持ち寄り、必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動

→生活困窮者や子ども食堂への食料支援

→食品ロス削減

**同時解決!!**

R3実績	大野市 (市役所・各公民館)	県民生協 (大野きらめき)
期間	12/7~9	12/10~12
収集数	561点	292点
収集量	732kg	255.5kg

## 生ごみの削減

### ◆生ごみ処理器使用モニター（消費者団体との連携）【R4～】

生ごみ、草木枝など水分を多く含むごみが燃やせるごみとして焼却処分されており、焼却効率低下による焼却処分費増加要因となっている

➔生ごみ処理器の使用モニター体験(1年間)

使用状況(減容量、ノウハウ、できた堆肥の活用例など)の報告により、

取組成果や家庭での分別等の課題を抽出する。

